



大島あつし 家族を守る 力になりたい。

自國のことは、自國で決める。ロシアによるウクライナ侵攻以降、旧西ドイツで東西冷戦下を過ごした当時の緊張感が、再び戻ってきたと実感しています。米や穀物は、人口を賄える水準まで増産します。そして、研究開発投資を徹底的に進め、日本でしか供給できない部品や医薬品、製品を開発・製造し、世界から頼られる存在であり続けます。そのことこそが、資源や食糧を他国に頼らざるを得ない我が国の安全につながると考えます。

物価、物価、物価対策。物価を上回る賃金上昇。賃金上昇で年金も増額。
そして、徹底した研究開発投資。

物価を上回る賃金上昇を実現する

日本の課題の一つは、過去

国民の持つ力を引き出す

ある駐日外国大使から、「日本は、人材の育成において誇りを持ち、その方法を世界に示すべきだ。特に、日本の小学校は市民を育てる学校だ」と伺いました。小中学校や職業高校、高等専門学校など世界に誇れる公教育の充実を図ります。

命の平等を守る医療を支える

日本の医療は素晴らしい制度で、健康保険証があれば、国民は一定水準の医療を受けることができます。がんになっても心して治療を受けられます。このように、日本は整備された医療制度を持つ国なのです。国民にあまねく平等に医療を提供するという国民皆保険の哲学を堅持し、将来にわたって持続可能な医療提供体制を構築します。

自國のことは自國で決める

自國の航空機や艦船の位置を、自國の測位衛星からの電波で正確に捕捉することは、独立国としての条件です。私は、測位衛星「みちびき」の事業化に奔走してきました。同衛星は、高精度測位、防災、経済安全保障を同時に支える、日本に不可欠な基幹インフラになっています。今後も、自動運転やスマート農業等の基盤としての利活用も進めていきます。

地元の課題に応える

さまざまなお要望を受けています。その一つに「道の駅」があります。私の依頼で国土交通大臣

埼玉県生まれ／京華高等学校／早稲田大学法学部卒業／日本钢管（現JFEスチール）にて14年間勤務／その後、ソニー生命にて営業職を5年間務める／2000年に民主党公募候補として衆議院初当選／2024年9期日当選／元内閣府副大臣／元総務副大臣／元民進党幹事長／元国民民主党代表代行／元立憲連盟会長／花卉産業振興議員連盟会長

20年間、経済に一定の余力があつたにもかかわらず、賃金の伸びが限定期だった点です。予算委員会で提案しました「大手発注企業に担当役員を設置して価格転嫁を推進する」政策を法案として実現することで、人件費を含めて価格転嫁を促していきます。

徹底して研究開発に投資する

Google日本本社を訪れ、人工知能について意見を交換しました。私たちは、産業革命が始まろうとしている時代の転換点に立っています。人工知能、量子コンピューター、光電融合。今後、科学技術は想定を超える速度で進展し、未来は早く訪れます。その変化に対応する政治を創り出していくます。

政治とは生活です。

政治は、声を上げるだけの力が弱い人々、ぎりぎりで踏みとどまっているので、声を上げる余裕がない方々の声を受け止め、政策を立案し、多くの方の賛同を得て実現することができ役割と考えて取り組む決意です。

これまでの
活動記録が
キーワードで
検索できます。

